

## MRI検査を受けられる方へ

(別紙)

## 【MRI 検査について】

MRI(磁気共鳴画像)検査はX線を使うことなく磁気を利用して、身体の内部状態を描出する検査であり、患者さんの体内金属の種類によって発熱等の可能性ならびに画像が不十分になる可能性があります。

検査の目的によっては造影剤を使用することがあります。

検査は狭いトンネルの中に入り、大きな音のなかで行います(音は耳栓等で軽減します)。

検査時間は30分～1時間となりますが、検査中はなるべく体を動かさないようにしてください。

乳幼児・小児・閉所恐怖症の方で、検査中の姿勢保持が困難な場合、睡眠剤を処方されることがあります。

## 【MRI 検査の注意点】

検査室内に電子機器や金属製品を持ち込むことは危険です。

**磁気による破損・誤動作・発熱によるやけどを起こす可能性があります。**

- 人工内耳・水頭症治療用シャント・脳深部刺激装置・脊髄刺激装置・可動性義眼(磁石式)を使用している方、眼窩内に金属片がある方は当院では検査できません。
- 次のような方は検査できない場合があります。

・体内および体外に医療用電子機器のある方 (3テスラMRI非対応の場合)

心臓ペースメーカ ・ 埋め込み型除細動器(ICD) ・ 両心室ペースメーカ(CRT)  
リードレスペースメーカ ・ ループレコーダ ・ インスリンポンプ ・ 持続血糖測定器

・体内および体外に金属類がある方 (3テスラMRI非対応の場合)

脳動脈瘤クリップ ・ 内視鏡止血用クリップ ・ マーキングクリップ ・ 胆管用ステント  
冠動脈ステント ・ 血管内ステント/コイル/フィルター ・ 人工血管 ・ 心臓人工弁  
整形外科手術による器具(人工関節・人工骨頭・プレート・ボルト等)  
義歯(磁性アタッチメント) ・ 義手 ・ 義足 ・ 避妊リング ・ ストーマ

・妊娠初期(14週未満)の方

- 酸化鉄が含まれているアイメイクや増毛スプレーを使用した状態では、検査できない場合があります。  
アイシャドウ・マスカラなど金属粉を含んだ化粧品の使用はお控えください。化粧を落としていただくことがあります。  
増毛スプレー(スーパーミリオンヘア等)は酸化鉄が使われており、装置に吸着され検査不能と
- 刺青・アートメイク・ネイルアートには金属を含んでいるものがあるため、発熱によるやけどや変色の可能性があります。  
美容整形術で埋込まれる金糸は、発熱によるやけどの可能性あります。
- 以下に挙げるものは、検査室に持ち込めません。検査着に着替える際に、取り外して頂きます。

●金属類: 義眼・義歯(入れ歯/インプラント/磁性アタッチメント)・義手・義足・補聴器  
かつら・ヘアピン・眼鏡・つけまつげ・ピアス・ネックレス・指輪・腕時計  
携帯電話・エレキバン・使い捨てカイロ・置き鍼・発熱繊維の肌着ヒートテック

●磁気カード: ICカード ・ クレジットカード ・ キャッシュカード ・ 電子マネーなど

●カラーコンタクトレンズ (検査当日はケースをご持参いただくか、眼鏡をご使用ください。)

●金属製の貼付薬: 疼痛治療薬貼付剤 ・ 狭心症治療薬 ・ 禁煙補助薬 ・ 湿布など  
例、ノルスパンテープ ・ ニトロダームTTS ・ ニコチネルTTS ・ ニュープロパッチ

※ノルスパンテープは検査直前にはがし、検査が終了したら前回とは貼付する部位を変えて貼付してください。  
除去したものは再貼り付けできませんので、検査後に張り付けする1回分の薬剤を持参してください。

## 検査当日の食事・飲水・服薬制限等について

- 心臓、上腹部(肝臓、胆嚢、膵臓)、骨盤部の検査の方
  - ・ 検査直前の1回分を絶食してください。 **6時間以上の絶食が必要です。**  
午前中の検査の方は、**朝絶食** をお願いします。  
午後 の検査の方は、**昼絶食** をお願いします。
  - ・ MRCP(肝臓、胆嚢、膵臓)の方は、3時間前から水分も制限します。
  - ・ 鉄剤及び鉄サプリメントを服用されると画像が乱れることがございますので、検査前は服用されないようにお願いします。
  - ・ 心臓MRIを受ける方は、当日利尿剤の服用はしないで下さい。(検査終了後に、服用してください)
- 糖尿病で治療中の方は、絶食について医師、看護師にお尋ねください。
- 鉄剤および鉄サプリメント以外で服用中のお薬は特に医師の指示がない限り、通常通り服用してください。
- 条件付きMRI対応カードをお持ちの方は必ずペースメーカー手帳と一緒に持参してください。  
忘れた場合は、安全性が確認できないため検査できません。

## MRI用造影剤使用検査を受けられる方へ

### 1. MRI用造影剤の使用意義

MRI検査は造影剤無しでもできますが、検査内容によってはMRI用造影剤を使用します。造影剤を使用することで鮮明な画像が得られ、全身の腫瘍性病変及び血管性病変の描出が向上します。精度の高い診断ができます。

※授乳中の方は、造影剤使用後24時間又は48時間は授乳を避けてください。

(使用する造影剤により異なります)

※静脈内に注入する造影剤以外に、経口消化管造影剤があります。

### 2. 造影剤注射時

- ① 体が熱くなることがありますが、心配いりません。
- ② 血管外に造影剤が漏れ、注射部位がはれて痛みを伴うことがあります。基本的には時間とともに吸収され、体外に排出されるので問題ありません。ただし、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。

### 3. 副作用について

MRI検査に使用するガドリニウム造影剤は、多くの場合人体に無害です。

しかし、ごくまれに副作用の見られることがあります。その大まかな頻度は次のとおりです。

MRI造影剤の副作用出現頻度

- ・軽症:100人に1人以下(不定愁訴・頭痛・嘔吐・紅潮・喉頭浮腫・血管浮腫・発疹など)
- ・重症:10万人に1人以下(呼吸困難・肺水腫・アナフィラキシーショック・視覚障害など)
- ・死亡:極めてまれ(造影剤の影響が考えらものは200万人に1人程度)

次の既往がある方は、副作用を生じる可能性がやや高くなりますので、担当医に申し出のうえ、相談してください。

- ・ご本人又は血縁者に喘息やアレルギー体質の人がいる
- ・以前、造影剤使用で気分が悪くなったことがある
- ・重い腎臓の病気がある

万が一、副作用が起こった場合には迅速かつ最善の処置を行いますので、安心して検査をお受けください。

4. 帰宅後、前記の副作用などが出現した場合や他に何か異常がある場合は、すぐに当院までご連絡ください

宮崎市郡医師会病院 放射線科  
連絡先 (0985) 77-9101

宮崎市郡医師会病院

## 外来で検査を受けた場合の目安料金

## MRI検査料金

検査内容	検査のみの総額	1割	3割
単純MRI	約25,000円	約2,500円	7,500円
造影MRI	約30,000円～45,000円	約3,000円～4,500円	約9,000円～13,500円
心臓MRI(単純)	約30,000円	約3,000円	約9,000円
心臓MRI(造影)	約40,000円	約4,000円	約12,000円

※ 使用する薬剤や検査の追加などにより料金は変わりますのでご了承ください。